



紅葉を照らすカボチャのランタン

(11月5日／Asahi 自然観)

※ 14 頁に関連記事

特 集／昼どきドキドキ！あさひまちランチ
町政スポット／被災地の子どもたちが町内でりんご狩り
NEWアクション事業、平成22年度決算 ほか
まちの話題／民謡歌手・平たか子さんが大沼の浮島を訪問
りんご温泉オープン20周年、町芸術文化祭 ほか

広報 あさひまち

2011 年 11 月号
No. 660

昼どきドキドキ！ あさひまちランチ

【 前 編 】

「食」を通じた地域おこし
注目される「B・1グランプリ」

地域密着型の情報誌やフリーペーパー等の普及により、近年はラーメンやそば、スイーツなど、地域に根差した「食」の情報が各方面で幅広く紹介されるようになっていきます。

こうした状況を追い風に、「安くてうまくて地元の人に愛される食べ物」を意味する「B級ご当地グルメ」といった言葉も誕生。これで町おこしを図る地域も急増し、2006年から始まった、ご当地グルメの祭典「B・1グランプリ（※）」は年々注目され

るようになっていきます。情報発信の工夫と努力次第では、地方の小さなお店でも幅広いお客さまを獲得できる時代となりました。

（※）今年11月12・13日の両日、姫路市で開催。山形県から初参加となる「河北町肉そば研究会」など63団体が自慢の一品を披露しました。

**おすすめのランチを食べに、
町内飲食店へ出かけてみよう**

一方、朝日町に目を向けると、町内には今のところ「B級グルメ」として広く浸透しているメニューはないものの、たくさん飲食店があります。

ただし、個々のお店の情報となると、なかなか紹介される機会がありません。

それに加え多くの人は普段、なじみの店を利用することが一般的で、それ以外のお店となると、看板メニュー（商品）すら、あまりわからないというのが現状です。本特集は、こうした背景を受け企画したもので、町内飲食店の振興を目的としています。

誰でも初めてのお店に足を踏み入れる際には、期待や不安、緊張で、多少なりともドキドキするものです。今回の記事を参考に、ぜひ町内の飲食店に足を運び、おすすめメニューをご賞味ください。

【前編では10店舗を紹介】

朝日町で現在昼食を提供する飲食店はおおよそ20店舗で、これらのお店を前後半約10店ずつ、2回に分けて紹介。前半は左のとおりです。

※今回の企画は、町内で昼食を提供するすべての飲食店を対象にしていますが、諸事情により取材を辞退されたお店もあります。あらかじめご了承ください。

「広報あさひまち」では昨年8月、「朝日町スイーツ探訪」と題した特集を組み、町内菓子店のおすすめ商品を紹介しました。

これが大きな反響で、数多くの評価の声をいただいたことから、今回はその続編として、町内飲食店の「ランチ（昼食）」特集を企画。11月号と12月号の2カ月連続で、これを提供する町内飲食店を取材し、看板メニュー（おすすめメニュー）やお店にまつわる秘話などを紹介します。

番号	飲食店名
①	秋葉亭
②	丸七そば店
③	コシーナ・デ・ミエ
④	喫茶 真理夢
⑤	そば屋 亀次郎
⑥	ふくろう村
⑦	りんご温泉レストラン「ひめさゆり」
⑧	カフェいろは
⑨	新華楼
⑩	カフェ蔵



スーラータンメン 酸辣湯麺…700 円

酢やラー油など、特徴的な味付けながら、根強いファンが多く、「これを目当てに遠方から来店するお客さまも少なくありません」と小嶋さん。体がポカポカと温まることから、寒くなるこれからの季節に特におすすめの一品で、辛さ調節も対応可。五目ラーメンなども注文が多く、昼は全メニューにおにぎりが付く。

①秋葉亭（真中）

営…11時～14時、17時～21時、休…水曜日、☎68-2713

山形市内で飲食業に携わっていた小嶋浩さんが平成2年に朝日町に移り住み、現在の場所で開業。奥さん（久美子さん）の実家が当町にあることが縁。

メニューは中華料理全般で、麺、ご飯、一品料理など豊富に取り揃えている。店名は、店の裏にある「秋葉山」に由来。大小宴会、出前も可。



「山形市から朝日町に来て早20年。皆さんに支えていただきながらここまで来ることができました。開店のときに小学1年生だった長男もすでに結婚。孫も3人できました。」

平日の昼間に限り、ご飯ものと麺から選べる2種類の日替わりランチセット（650円）も用意しています。ぜひご利用ください」

【店主 小嶋浩さん】

②丸七そば店（栗木沢）

営…11時～14時30分、休…不定休、☎68-2644

現店主の遠藤昭三さんが果樹農家から転身し、昭和52年に栗木沢地内で開業。開店当初から日本そばとラーメンの2本立てで、メニューや味付けはすべて自ら研究、考案した。

国道287号の拡幅工事により、平成13年に現在の場所に移転。店名の由来は、先祖の名前に代々「七」が使われていて、屋号が㊦だったため。



「開店から34年がたちます。現在500円を出しているラーメンも当時は一杯270円でした。時代への移り変わりを実感しますね。おかげさまで、長年の常連さんは顔を見ればだいたい注文がわかるようになってきました（笑）。」

ウチはすべてのメニューに自家製の米と野菜を使ったおにぎり・漬物付き。お得ですよ」

【店主 遠藤昭三さん】



みそラーメン…600 円

開店当初から30年以上にわたって愛されている一品。キャベツ、もやし、ネギ、刻みチャーシュー入りで、味付けはニンニク、ゴマ、豆板醤など。秋から冬場にかけて特に注文が増えるといい、「10人中4～5人はコレかな」と遠藤さん。中華そば、鳥そば、板そばなどもファンが多い人気メニュー。

③ コシーナ・デ・ミエ (栗木沢)

営…11時30分～14時、17時30分～21時
休…不定休 ☎ 68-2353 ※要予約

当町松原出身の長岡美恵さん。20代～30代にかけて5年間、アフリカ大陸の西に浮かぶカナリア諸島(スペイン)で暮らし、以来、同国のファンになった。

店は町にUターンした翌年、平成16年に自宅を利用して開いた。田舎暮らしを楽しむ傍ら、スペインの家庭料理を提供している。「コシーナ」とは、スペイン語で「台所」。店名は「美恵さんの台所」という意味。



「田舎でのんびりと暮らしながら大好きなスペイン料理に携わることができればと、店を開きました。アットホームな雰囲気がいいと感じ、自宅を利用しました。山形では自宅を使ったそば店が多いですね。

ディナー(2700円～)のほか、出張営業にも応じています。公民館や婦人会などの行事で、たまにはこうした料理もいかがでしょうか」

【店主 長岡美恵さん】



写真のパエージャは3人前

パエージャランチ…1200円～

※2人前以上から、要予約

パエージャとはスペインの家庭料理で、エビ、ムール貝、鶏肉、アサリ、タマネギ、ピーマン、ニンニクなどと一緒に米を40～50分かけて煮込む。「お祝いの席など特別な日に食べる料理で、日本でいうと赤飯みたいなものではないでしょうか」と長岡さん。ランチには、ミニサラダとスープ、コーヒーが付く。

④ 喫茶 真理夢 (栗木沢)

営…11時30分～21時 休…不定休 ☎ 68-2841

朝日町初の喫茶店として、昭和57年のクリスマスに開店。メニューはスパゲティをはじめ、ピラフやピザなど。もちろん、コーヒーやパフェがあり、たくさんのマンガが並ぶ店内は喫茶店ならではの。

「自分の喫茶店を持つのが夢でした」と話す店主の遠藤まり子さん。店名は、「まり子さんの夢」にちなんでいる。



「早いもので、開店から約30年になります。振り返れば、当時はまだ独身で、店を切り盛りするのに精いっぱい毎日でした。その後結婚し、出産・育児で4年間休業しましたが、再開後も変わらずご利用いただき、ありがたく思います。

予約に限り、アルコールを準備いたします。少人数の会合などにご利用ください」

【店主 遠藤まり子さん】



スパゲティハンバーグ…750円

豚肉を使った約130gの手作りハンバーグとナポリタン、サラダが一皿に集結。ソースは日本人好みの家庭的な味付けで、子どもからお年寄りまで幅広く愛されているという。

そのほか、ピラフなども人気。どのメニューもボリューム満点で、若者の間で特に好評。



板そば…1050 円

そば粉 10 に対し、つなぎ 1 の割合の「十一そば」。毎日客足を勘案しながら、早朝 4 時台から 4～5 時間かけて打っている。水は山辺町作谷沢に湧き出る「龍神水」を使用。

メニューはざるそば、板そば（ざるの 1.7 倍）のほか、天ぷらそばやたぬきそばなど。しかし、「10 人中 8 人はざるか板かな…」と鈴木さん。すべてのメニューに季節の食材を使った 2 品のお通しが付く。

⑤そば屋 亀次郎（沼向）

営…11 時 00 分～15 時 休…水曜日 ☎ 67-3333

もともと町職員だった鈴木俊昭さん。曾祖父と祖父が以前そば店を営んでいたことをきっかけにしてそば打ちをはじめ、その後家業をひと世代越えて伝えようと決心。役場を早期退職し、平成 15 年に開業した。店名は祖父「亀次郎」氏の名前に由来している。

そばのほか、そば粉 100% の「かいもち」やデザート「豆乳ゼリー」も人気。



「8 年前、好きで始めた仕事ですが、正直、毎日そばを打つ大変さは想像以上でした。体が慣れるまで 5 年ほどかかったように思います。」

しかし、そんな辛いときに助けてくれたのはお客さまの笑顔でした。「おいしかったです」の一言に何度励まされたことか…。今後もより多くのお客さまの笑顔を見られるよう皆さんを重ねていきたいと思っています」

【店主 鈴木俊昭さん】



チキンステーキ定食…700 円

約 250g のチキンをメインに、ご飯、味噌汁、そして 2 種類の小鉢と漬物、さらにドリンクまで付いて 700 円というリーズナブルさ。

ランチタイムのお客さまは「男性サラリーマンが大半（和田さん）」。

パンやスープを提供した時期もあったが、このスタイルが最も好評で定着したという。そのほかカツカレーも人気で、日替わりランチや、とんかつ・生姜焼き・とりの唐揚げといった定番の定食もある。

⑥ふくろう村（宿）

営…11 時 30 分～14 時 30 分、17 時 30 分～23 時
休…火曜日 ☎ 67-3819

寒河江市内の洋食店で働いていた地元和合出身の和田昭俊さんが独立し、平成 15 年に開店。店名は、「福籠」「福来」「不苦労」などの読みで縁起のいい動物とされるフクロウにあやかり、食器もフクロウが描かれたものを多数利用している。ちなみに「ふくろう村」の「村」は、店を北から見ると、背後に木々が生い茂り、「森のような雰囲気だから（和田さん）」という。



「リーズナブルな値段で、アットホームな雰囲気の店をめざしています。お昼のほか夜間も営業し、おかげさまで、地元和合地区の方々を中心に、幅広い年代の方々に利用いただいています。」

当店は、町で唯一焼き肉を楽しめる店、また常時 20 種類以上の朝日町ワインを楽しめる店です。ぜひご来店ください」

【店主 和田昭俊さん】

⑦りんご温泉レストラン「ひめさゆり」(四ノ沢)

☎…11時～16時、年中無休、☎67-7888

平成3年にオープンした「りんご温泉」の2階にあるレストラン。看板メニューの「りんご麺」のほか、町内で飼育された比内地鶏を使った「地鶏そば」や「地鶏麦切り」(温・冷)などオリジナルの一品も。

店内は黒を基調とした落ち着いた雰囲気。高台に建つ施設の2階にあるため、見晴らしも良好。夜間は宴会のみの営業となっている。



「りんご温泉はこのほどオープン20周年を迎えました。

ランチにはそのほか、天ぷら、鶏のから揚げ、納豆もちなどをはじめとした10種類の『ワンコイン(500円)ランチ』などもあります。また、これに入浴券と休憩所利用券がついたお得な「ゆったりパック」も1000円で用意しています。ぜひご利用ください」

【支配人 齋藤敏さん】



りんご麺…750円

りんごの粉末と月山の湧き水で練り上げた麺を、冷やし中華風にアレンジ。オープンの翌年、レストランの目玉にと開発されたもので、冷麺のような・うどんのような食感とさっぱり感、のど越しの良さが特徴。風呂上がりの温まった体につるつると食べたい一品。

(※果物は時期により、りんご以外の場合もあります)

⑧カフェいろは (前田沢)

☎…11時30分～15時30分、休…月～水、☎なし

宮宿地区の旧家「今井五郎八家」の10代目当主で、オペラ歌手として有名な今井倭子さん。現在の朝日中学校裏手に先祖が建立した「金毘羅神社」がある。その周辺を桜でいっぱいにする活動を展開中で、昨年7月、その拠点にと、この店を開いた。建物はもともと古い物置小屋で、外観はそのままながら、内装は白い壁と黒い梁、そして暖炉があるおしゃれな空間。

店名は「五郎八」家の読みからとったもの。



『金毘羅様のためのカフェいろは』がコンセプトで、店はいわゆる『神社参りの一服茶屋』。コーヒーやあんみつ、おしるこなどのスイーツもあり、もちろん、売り上げはすべて植樹活動の資金としています。

古ぼけた外観で、国道沿いの交差点角に建つためか、信号待ちの車の中から、多くの人々が珍しうに店を見ていきます(笑)」

【店主 今井倭子^{しづこ}さん】



こんぴら 金毘羅パスタ…650円

パスタを鶏ごぼうのしょう油ダレにつけて食べるオリジナルの一品。

オペラ歌手として15年間イタリアに住んでいた今井さん。日本の味が恋しくなると、日本から持参したしょう油ダレにパスタをつけて食べることもあったといい、これをヒントに考案した。夏は氷を入れ冷たくして提供している。このほかピザセットもあり、本場イタリア仕込みの味を楽しめる。



豚肉細切りラーメン…700 円

細切りにした豚肉とタケノコに、キクラゲ、ハウレンソウをあんかけでからめ、ラーメンにかけた一品で、開店当時の人気メニュー。ご飯にのせた「豚肉細切りかけご飯」も、お客さまの要望で開店から数年後に誕生し、今では人気を二分している。

他の人気メニューはネギみそラーメンやエビタンメンなど。

⑨中華料理 新華楼（元町）

営…11 時～13 時 30 分、17 時～22 時、休…水曜日
☎ 67-7849

東京都内の中華料理店「新華楼」で5年間修業した現店主の鈴木正さんが、同店からの「のれん分け」により昭和61年に開業。35種類のラーメン、19種類のライスメニューのほか、一品料理も多数。

大小宴会のほか、出前も中部地区を中心に対応。豚肉は部位により町内の食肉加工業者「ロイフェン」からも仕入れている。



「24歳で開業してから25年。近所の方々や友人をはじめ、多くの町民の方から支えていただき、今日に至っています。」

マーボーラーメンやジャージャーメンなど、当店ではお客さまの要望でメニューに上がったものも数多くあります。いろいろと対応できますので、どうぞご意見をお寄せください」

【店主 鈴木正さん】



11月の和風ランチ

月替わりランチ 和風…700 円 洋風…1000 円

地元の食材を取り入れた家庭料理風の味が特徴で、毎月、和風（700 円）・洋風（1000 円）の2種類を用意。注文の割合は「和風8に対し、洋風は2くらいでしょうか」と柴田さん。

今月の和風は里芋まんじゅうがメイン。タラの野菜あんかけや空気が神社のイメージした温かい茶碗蒸しに、柿とりんごの白和えなど数種類の小鉢が並ぶ。洋風は豚肉のりんごソースがメイン。

⑩カフェ蔵（大町）

営…10 時～16 時 30 分、休…水曜日、☎ 67-2377

「交流・観光」の拠点として、町が昨年8月整備した「蔵のひろば」。店はその中に建ち、料理教室の講師等で長年実績のある柴田泰子さん（四ノ沢）と17人のスタッフが「みちくさの会」として料理に腕をふるっている。ランチのほか、喫茶店としてコーヒーやケーキも提供。夏場のジェラートは子どもたちに特に好評。小規模な会合等も受けている。



「オープンから1年数カ月…。震災で客足が遠のいた時期もありましたが、多くの町民の方々に支えていただきました。」

お客さまの中には、ありがたいことに山形市から毎月来店される方も。家庭料理だけに、料理方法を尋ねる方も少なくありませんが、企業秘密なしの当店だけに、すべてお教えしています（笑）」

【みちくさの会 代表 柴田泰子さん】

被災地の小学生がりんご狩りなどを楽しむ

海の子・山の子交流会「海の集い」、JA全農山形主催「農業体験ツアー」

東日本大震災



「海の子・山の子交流会（10月15日）」…収穫するりんごには、大谷小学校児童の手により、参加者の名前のほか、学校名、「がんばろう東北」などのシール文字が入れられていた

ホームページに写真

一方、10月21日には、今回の震災で被災した宮城県東松島市の小学生約130人がJA全農山形主催の「農業体験ツアー」で来県。寒河江市で里芋の収穫と芋煮会を楽しんだあと、能内地内にある志藤清市郎さん（川通）の園地を訪れ、旬のりんご「シナノスイート」を収穫しました。

宮城県七ヶ浜町と当町の小学生による「海の子・山の子交流会」の「山の集い」が10月15日、大谷小学校などを会場に開催され、七ヶ浜町立亦楽えんらく小学校の児童と保護者、町関係者など約60人が当町を訪れました。

この交流会は、平成15年度から毎年開催されているもの。毎

年夏に七ヶ浜町で「海の集い」を、冬に朝日町で「山の集い」を開催してきましたが、東日本大震災により「海の集い」が中止になった今年は、特別に例年よりも一足早く「山の集い」を企画。両町の子どもたちが栗木沢地内の志藤修治さんの園地でりんご狩りを楽しみ、その後芋

煮会で交流。山形を代表する秋の味覚に舌鼓を打ちました。なお、この日は七ヶ浜町の渡辺善夫町長も初めて当町を訪問。震災発生以降、当町が行った支援に対し、感謝の言葉を述べました。

一方、10月21日には、今回の震災で被災した宮城県東松島市の小学生約

元町議

豊嶋武磨さんに旭日単光章

3期12年間 町の振興発展に尽力

10月1日付で発表された叙勲・褒章で、朝日町から豊嶋武磨さん（本町）が旭日単光章を受章しました。

豊嶋さんは昭和34年から38年、同42年から50年までの通算3期、12年の長きにわたり町議会議員を務めたほか、町代表監査委員等を歴任。町の振興発展に多大に寄与された功績が認められたものです。「浅学非才の私がこのような章をいただいたことは、周囲の皆さんのお陰。ただただ感謝の気持ちでいっぱいです」と受賞の喜びを語りました。



～町を元気にする意欲的なグループを支援～

「new アクション応援事業」 始まる

平成 19 年度から 3 年間行われた人材育成事業「あさひ未来塾」の後継事業として、町教育委員会では今年度から「new アクション応援事業」を始めました。

この事業は、町、地域の活性化や課題解決に意欲的なグループに対し、その学習活動にかかる経費を支

援するもので、6 月～7 月の募集に応じた 3 つのグループが現在活動中です。

各グループとも一緒に活動する仲間を募集中。興味のある方は、各グループまたは町教育委員会教育文化課（☎ 67-2118）までお問合せください。



「朝日グラウンドワーク研究会」

朝日町をはじめ、近隣地域における住民・企業・行政の協働活動を促進し、地域環境の改善に寄与することを目的に発足。代表は佐藤欣治さん（前田沢）で、メンバーは 10 人



「ツチャこい旅会議」

「あさひ未来塾」の「もてなしの心をつなぐ産業交流プロジェクト」のコースに参加した人が中心。代表は石井喜久男さん（大谷三）で、メンバーは 9 人



「空気神社応援団」

環境問題への先進性やパワースポットとして最近注目度が増す空気神社の土産品づくりに関心のある 3 人のメンバーで発足。代表は町観光協会の後藤匡利観光振興推進員（大町）。

【事業内容】

①「神風船まつり」

冬期における賑わいの創出を目的に、6 年前まで商工会青年部が創遊館で開催していたものを復活させる。時期は来年 1 月を予定。近隣市町にも参加を呼びかけるほか、宮城県七ヶ浜町への訪問も検討中。

②「親子竹とんぼ全国大会」

竹とんぼ作りなどの昔遊びを通して、青少年の健全育成や親子の絆を深めるとともに、全国からの参加者を募り町の活性化につなげる。来年 3 月以降に開催予定。

【事業内容】

「朝日町オリジナル弁当の創作」

町内の食材を可能な限り使用して、パッケージにもこだわったオリジナルの弁当を作る。また、四季それぞれの朝日町弁当や鉄道駅のない町の駅弁づくりなど、話題性のある企画についても検討中。

「秋の朝日町弁当」と銘打って、現段階の試作品を今月 19 日・20 日の両日開催される町産業まつりで販売する。

【事業内容】

「空気神社のお土産品の創作」

現在、環境問題への先進性やパワースポットとして注目を集めている空気神社だが、それを象徴する土産品は少ない。過去のお土産品の調査などを参考にしながら、個性豊かな空気神社の魅力が伝わる新たなお土産を創る。

現在は、キーホルダーにもできる「ミニチュア空気神社（1/144 サイズ）」のサンプルを製作中。そのほかにも、リラクゼーショングッズや、空気神社を題材とした物語の作成などを考案中。



夜空に舞上げられる神風船（平成 16 年 2 月）



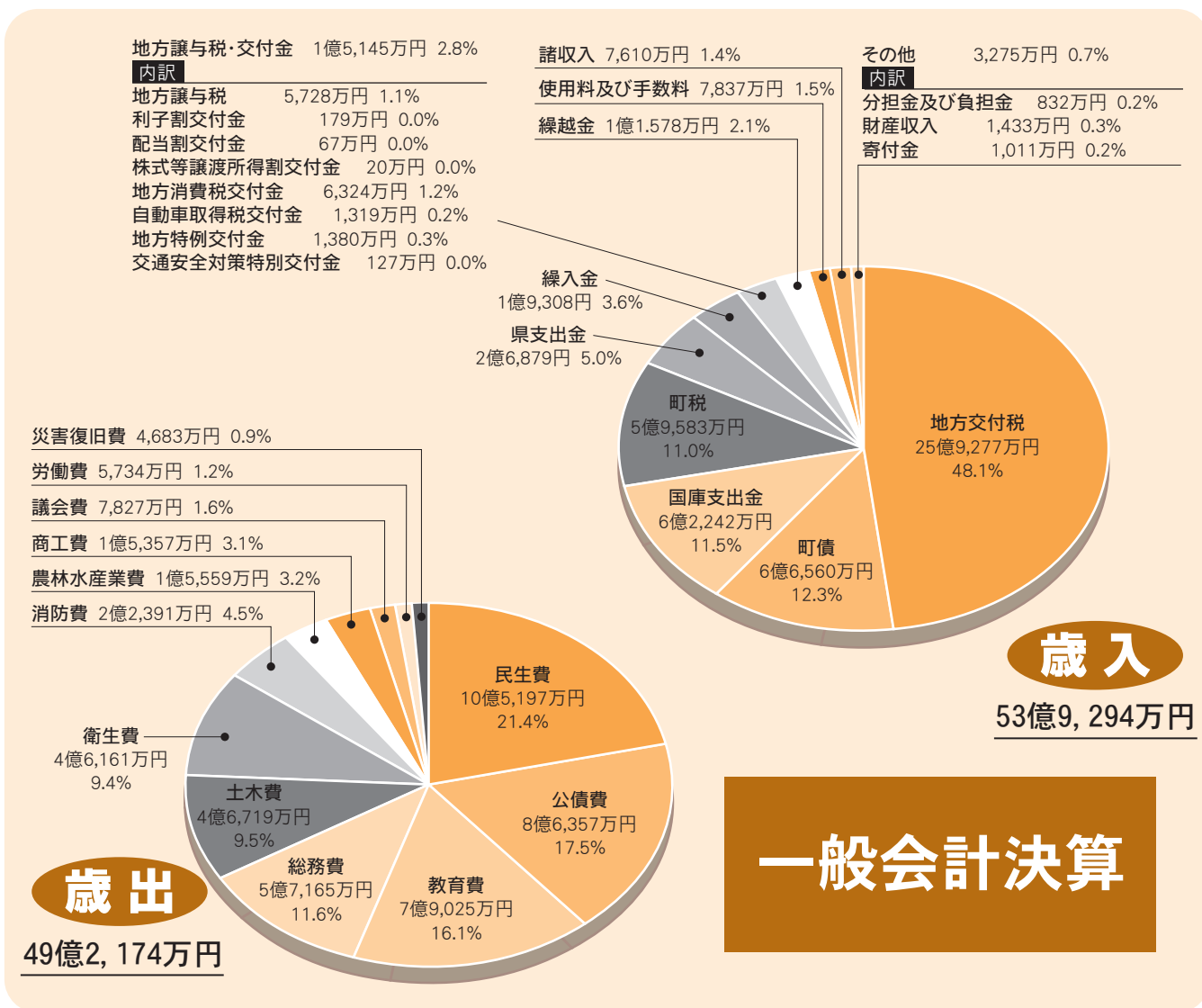
産業まつりで販売されるオリジナル弁当の試作品



空気神社

平成22年度 決算の概要

朝日町の平成22年度決算が、9月議会で認定されました。みなさんから納めていただいた税金や国・県からの支出金がどのように使われたのか、町の財政状況がどうなっているのか、その概要をお知らせします。この結果は、平成23年度の予算執行、平成24年度の予算編成に生かされます。



歳入歳出決算

(単位：円)

		歳入（収入）	歳出（支出）	差引	町債現在高	積立金現在高
一般会計		53億9,294万	49億2,174万	4億7,120万	53億8,261万	13億1,133万
特別会計	集落排水事業	2,218万	1,555万	663万	3,139万	2,468万
	国民健康保険	10億8,249万	9億8,681万	9,568万	—	1億6,870万
	老人保健	59万	59万	0万	—	—
	介護保険	8億8,154万	8億6,620万	1,534万	—	3,762万
	後期高齢者医療	8,397万	8,332万	65万	—	—
企業会計	病院事業	(収益的収支)	7億4,063万	7億325万	3,738万	6億1,288万
		(資本的収支)	1,509万	6,101万	△4,592万	
	水道事業	(収益的収支)	1億6,979万	1億3,614万	3,365万	1億6,947万
		(資本的収支)	2,261万	8,531万	△6,270万	

※水道事業・病院事業の収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしています。

※全会計とも、実質黒字または資金剰余となっています。

財政指標で見る朝日町の財政状況【😊…良い、😐…普通、😞…良くない】

		平成22年度		平成21年度		
		朝日町	県内22町村平均 (朝日町の順位)	朝日町	県内22町村平均 (朝日町の順位)	全国の類似団体 118町村の平均 (朝日町の順位)
財政力指数 (1に近い1を超えるほど余裕がある)		0.22 😞	0.27 (高い方から14位)	0.23	0.28 (14位)	0.27 (53位)
経常収支比率 (値が小さいほど自由に使えるお金が多い)		86.4% 😞	83.9% (小さい方から16位)	90.1%	88.6% (13位)	84.8% (98位)
健全化判断比率	実質赤字比率	－% (黒字のため比率なし) 😊	－% (全町村黒字のため比率なし)	－% (黒字のため比率なし)	－% (全町村黒字のため比率なし)	
	連結実質赤字比率	－% (黒字のため比率なし) 😊	－% (全町村黒字のため比率なし)	－% (黒字のため比率なし)	－% (全町村黒字のため比率なし)	
	実質公債費比率 (小さいほど公債費負担の割合が少ない)	9.3% 😊	14.6% (小さい方から1位)	11.0%	16.1% (1位)	14.8% (19位)
	将来負担比率 (小さいほど将来の債務の割合が少ない)	18.1% 😊	78.7% (小さい方から2位)	48.9%	99.3% (2位)	54.6% (50位)

(注1) 指標は「地方財政状況調査」「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」をもとにしています。
(注2) 平成22年度は速報値（見込み）です。
(注3) 県内町村、類似団体の各種比率は、単純平均です。

【類似団体】

人口、産業構造の組み合わせが似通った町村。全国の町村を15グループに分類している。

【財政力指数】

標準的な行政活動を行う経費に、町税等の標準的な収入でどれだけ賄えるかを示す。1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕がある。（1を超えると普通交付税の不交付団体となる）

【経常収支比率】

経常的収入（町税、普通交付税等の毎年常に入ってくる財源）から経常的支出（人件費、公債費、扶助費等の毎年必ず支払う経費）に充てられた割合を示す。値が小さいほど自由に使える資金が多い。

【健全化判断比率】

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、地方公共団体の財政の健全性に関する比率。基準を超えるとは財政健全化（再生）計画を策定し、財政の早期健全化及び財政の再生を図ることとなる。計画が実施されないときは、国・県から予算の変更等の勧告を受ける場合がある。

【実質赤字比率】

一般会計等に係る実質赤字額の標準財政規模（税＋交付税＋臨時財政対策債）に対する比率。「早期健全化基準15%、財政再生基準20%」

【連結実質赤字比率】

全会計に係る実質赤字額の標準財政規模に対する比率。「早期健全化基準20%、財政再生基準35%」

【実質公債費比率】

一般会計等が負担する公債費（借金の返済）等に充てた一般財源の、標準財政規模に対する比率。この値が大きいほど、公債費の割合が高く、財政を圧迫していることとなる。18%を超えると町債の発行に県の許可が必要となる。

「早期健全化基準25%、財政再生基準35%」

【将来負担比率】

一般会計等が将来負担すべき債務（借金等）の標準財政規模に対する比率。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高いことを示す。「早期健全化基準350%」

【朝日町の状況、および今後の取り組み】

朝日町の健全化判断比率は、早期健全化基準を大きく下回り、県内町村の中でトップクラスの「健全段階」となり、これまで、財政の健全運営に努めてきた結果が反映されたものとなっています。

しかし、財政状況を考えているときは、他の財政指標等も合わせて考える必要があります。朝日町は、特に財政力指数、経常収支比率が良くありません。これまで人件費・公債費等の経常経費の削減に努めて来ましたが、少子高齢化・定住対策に要する経費の増加、更には、景気低迷による町税や地方交付税の減少により、今後とも厳しい財政運営となる見込です。

持続可能な財政運営を行うため、引き続き、財政の健全性を保つよう努める必要があります。

まちの話題



「[ホームページに写真](#)」の表記があるものについては、町ホームページの「まちの写真館」コーナーで、多くの写真を紹介しています。ぜひご覧ください。

民謡歌手、平たか子さんが大沼の浮島を訪れる (10月18日／大沼浮嶋稲荷神社)



浮嶋稲荷神社の社殿で新曲を奉納する民謡歌手の平たか子さん

新曲「浮島伝説」の奉納とヒット祈願

宮城県大崎市在住の民謡歌手、平たか子さんが今月下旬「浮島伝説」という新曲をリリースすることとなり、10月18日、新曲の奉納とヒット祈願のため、作詞家の堀あかねさ

ん（同仙台市）、作曲家の福居城大さん（同亘理町）らとともに大沼の浮島を訪れました。

これまで、全国各地の民謡コンクールで数々の優勝経験を持つ平さ

ん。これらの活躍から新たにCDリリースの話がまとまり、その後、宮城県を中心に活動する堀さんに作詞を依頼。「浮島伝説」は、この依頼に堀さんが応えたもので、同じく宮城県内を中心に活躍する福居城大さんが音を乗せました。

「5年前の初冬、友人の案内でこの場所を訪れたとき、情景の美しさに感動し、心が掻き立てられるような思いに駆られました…」と語る堀さん。「この歌は当時の思いを基に作詞したもので、今日は新曲のリリースを前に、まずは神社に披露しようと訪れました。歌をきっかけにして、この場所に多くのお客さまが来ていただければ幸いです」と神社にヒットを祈願しました。

[ホームページに写真](#)

りんご温泉 20 周年記念「お客様感謝祭」(10月21日～23日／りんご温泉)

20 年前の思い出と「あったまりの湯」に浸る利用者

平成3年8月のオープン以来、今年で20周年を迎えたりんご温泉が10月21日～23日までの3日間、節目を祝うイベントとして、「お客様感謝祭」を開催しました。

期間中は露天風呂が無料開放されたほか、「りんご温泉」をテーマにした写真コンテストや、入浴券・りんごなどが当たるお楽しみ抽選会を開催。町内外から多くのお客さまが訪れ、施設自慢の高台からの景色や、入浴を楽しんでいました。

「私は、ここの建設工事に携わったんです」と話すのは、21日に孫たちと露天風呂を訪れていた若月明さん（西船渡）。「思い入れもあり、現在も常連としてよく利用しています。昨年からは源泉が変わりましたが、前の湯質とはまた一味違った特徴があり、こちらも気に入っています」と続け、20年前の思い出と、施設自慢の「あったまりの湯」に浸っていました。

[ホームページに写真](#)



露天風呂を楽しむ利用者

第 47 回朝日町芸術文化祭 (11月2日～3日／創遊館ほか)



「語りの会つむぎ」「さくらいピアノ教室」が初参加

第 47 回町芸術文化祭が 11 月 2 日から 2 日間の日程で創遊館、西・北部公民館、下芦沢民館（移動芸能発表）を会場に開催されました。

今年度、町芸術文化協議会に加盟しているのは、36 団体、3 個人で、会員総数は 415 人。芸術文化祭は日頃磨き上げてきた活動の成果を披露する場として毎年開催されている

もので、今年は「語りの会つむぎ」が初出演し民話劇を披露したほか、さくらいピアノ教室（大谷）も初参加。練習の成果を発表しました。

なお、式典の中で、（故）成原茂さん（大町／朝日盆栽園芸愛好会）に「あさひ芸術文化功労賞」が、長岡輝美さん（常盤／朝日真墨会）に「同奨励賞」が贈られました。



キャンドルリンク 3.11 被災地に贈る双子キャンドル製作会 (11月6日／ハチ蜜の森キャンドル)



双子キャンドルの出来ばえに満足げな表情の参加者

被災者の心に温かな光を灯すキャンドル

東日本大震災の被災者に贈るためのキャンドル製作会が 11 月 6 日、ハチ蜜の森キャンドル（立木）で行われ、町内外の 20 人が参加しました。

蜜ロウソク職人の安藤竜二さん（大谷一）が「キャンドルリンク 3.11」の取り組みとして開催。これは、芯となる一本の糸の両端をロウに浸し、「双子キャンドル」を製作するもので、1 本は被災地に贈り、もう 1 本は製作者が持ち帰ります。ともにクリスマスイブに灯しあうことで、被災者

に人と人のつながりや温かな気持ちを感じていただくものです。

安藤さんは、「キャンドルリンクは阪神淡路大震災があった 1994 年、多くの被災者をよそにクリスマスを楽しもうとすることに疑問を感じ、何かできることはないかと始めたものです。ささやかなプレゼントですが、被災者の心にも温かな光を灯すことができれば幸いです」と話していました。

[ホームページに写真](#)

りんごの樹オーナー制収穫祈願祭 (10月18日／秋葉山交遊館)

一口5,000円でりんご（ふじ）の樹丸ごと1本のオーナーになれる「りんごの樹オーナー制」。10月18日、今年の収穫祈願祭が開催され、オーナー登録者54人のうち22人とその家族など98人が参加しました。

一行は午前中に園地で5回の作業

のうち最後となる「玉返し」を行ったあと、交遊館内に場所を移動。地元産ワインやりんごジュース、そして収穫を祈願する杵つき餅などで朝日町の秋を味わったほか、りんごの皮むき競争などのアトラクションなどを楽しみました。



JR 駅長おすすめ小さな旅 (10月23日／世界のりんご園ほか)

JR 東日本の旅行パック「駅長おすすめ小さな旅」の企画として10月23日「電動機付き自転車でまわる朝日町ツアー」が催行され、仙台市から4人のお客様と、JR東日本左沢営業所の所長らが参加しました。

一行は、町エコミュージアム案内

人の会の長岡秀典さん（栄町）の案内のもと、町観光協会の電動アシスト付き自転車を使い、ダチョウの展示園、世界のりんご園などを見学。カフェ蔵での食事や、りんごをはじめとした地域の方々からの思わぬお土産を手にし、大満足の様子でした。



☐ホームページに写真

豊玉姫まつり「収穫祈願祭」(10月30日／蔵のひろば)

「豊玉姫まつり」の収穫祈願祭が10月30日、「蔵のひろば」周辺で開催されました。

このまつりは農耕の神様「豊玉姫」が祀られている豊龍神社の門前町・宮宿地内に賑やかさを取り戻そうと、宮宿中央通り商業振興会（鈴木

徳博会長）が開催しているもの。4回目となる今年は、りんごの加工品のほか、カフェ蔵では甘く煮たりんごをクレープ生地で包んだ「りんごん焼き」も提供。宮宿小学校豊年太鼓や津軽三味線などのアトラクションも披露され、約500人が訪れました。



紅葉の雑木林にカボチャランタンで小人の村づくり (11月5日／Asahi 自然観)

中身をくりぬいたカボチャの中に蜜ロウソクを灯し、雑木林の中でほのかな明かりを楽しむ催しが11月5日、Asahi 自然観で開催されました。

これは蜜ロウソク職人の安藤竜二さん（大谷一）が主催する晩秋の恒例行事で、今年は約60人が参加。

参加者ははじめに建物内でオリジナルの蜜ロウソクとカボチャランタンづくりを楽しんだあと、雑木林の中に移動しロウソクを点灯。暗闇の中でほかに光るカボチャに「小人の村」をイメージしながら、しばらくの間、幻想的な世界に見入っていました。



☐ホームページに写真

知って安心 ～子どもの救急法セミナー～ (10月26日／創遊館)

病気や事故など、乳幼児が遭遇しやすいトラブルへの対処法を学ぶセミナーが10月26日創遊館で行われ、3歳未満の子どもを持つ22人の保護者が参加しました。

セミナーは2部構成で、前半は「にとう小児科（寒河江市）」の仁藤敏

昭院長が講演。発熱時の対処法や感染症ワクチンの最新情報などを紹介しました。

続く後半では、消防署朝日分署の救急救命士を講師に、参加者が心肺蘇生を実践。万が一の際に役立つ知識を学びました。



町建設総合組合感謝ボランティア (10月10日／町内各所)

朝日町建設総合組合（安藤政喜組合長）による「感謝ボランティア」が10月10日行われました。

これは、日頃仕事を受けている町民への感謝と、地元の工務店や職人のPRなどを目的に毎年開催されているもので、今年で5年目。75歳以

上の一人・二人暮らし世帯の希望者を対象に、家屋・建具の修繕、庭木の手入れなど、職人ならではの熟練の技能を無償で提供するものです。

67人、102箇所の申し込みに、30人の組合員が対応。高齢者世帯の住環境整備に役買いました。



いもがわ温泉紅葉まつり (10月23日／いもがわ温泉)

毎年恒例の「いもがわ温泉紅葉まつり」が10月23日、同所で開催されました。

いもがわ温泉は、正式には「高齢者生産活動センター」といい、高齢者が様々な生産活動に従事しながら生きがいを果たす施設。木

工部、養魚部、薬草部、民芸部、花木部、山菜加工部などがあり、各部の生産品は施設内で販売されています。

この日はこれらの商品が並んだほか、おいしい芋煮などが用意され、約150人がカラオケや芸能ショーで秋の一日を満喫しました。



あさひ寄席 (10月23日／宮宿公民館)

宮宿大町地内にある「ぬくひサービスセンター」が主催する「あさひ寄席」が10月23日、宮宿公民館で開催され、小国町出身の真打落語家山遊亭金太郎さんらによる落語や腹話術が披露されました。

これは同センターの地域貢献事業

として毎年開催されているもので、入場は無料。約50人の来場者は、一流の芸能を約2時間楽しんだほか、終了後にはお楽しみ抽選会も開催され、当選者には金太郎師匠プロデュースによる加工食品や直筆の色紙が贈られました。



ホームページに写真
ホームページに写真

「語りの会つむぎ」がグループホームを訪問 (10月26日／グループホームあさひ)

「語りの会つむぎ（成原千枝代表）」のメンバー4人が10月26日、「グループホームあさひ」を訪問し、入所者に寸劇や歌などを披露しました。

昨年度まで毎月1回開催していた「むかしばなしの会」を休止し、今

年度は保育園や学校、福祉施設を精力的に訪問している同会。本施設の訪問は初めてながら、お年寄りを元気づけようとユーモアあふれる芸や歌を披露する4人に、入所者は手拍子などで応え、約1時間、楽しいひとときを過ごしました。



マーティ先生のハロウィンパーティー (10月30日／開発センター)

町のALTマーティ先生によるハロウィンパーティーが10月30日、開発センターで開催されました。

ハロウィンとは主に英語圏の国々で10月31日に行われる伝統行事。夜に死者の霊や魔女が出るという言い伝えがあり、仮面などで身を守っ

ていたそうですが、現在では子どもが主役のお祭りに変化しています。

この日は魔女や海賊などの衣装に身を包んだ約70人の子どもたちが参加。異国情緒漂う会場の中で様々なゲームを楽しみながら、たくさんのお菓子を手に入っていました。



四ノ沢と和合を結ぶ国道 287 号の「岩坂橋」付近、和合地内の農地に今年夏姿を現した 6 棟のビニールハウス。これは果樹栽培などで生計を立てる和合（沼向）地区の 4 人が「和合小松菜組合（菅井正治代表）」を結成し、文字通り小松菜栽培用に建てたものです。小松菜は年間を通して収穫が可能（10 回転の予定）で、定期的に収入を得られるほか、今回は販売先との提携栽培となることから、取引価格も安定。果樹の副次的な収入源として期待されています。

朝日町で葉物野菜を本格的に手掛ける農家は、まだまだごくわずか。10 月初旬の播種から約 1 カ月が経過し、緊張と不安の中、11 月上旬に初出荷を終えた 4 人に話を聞きました。



今輝いて

自ら栽培した小松菜を手取る組合のメンバー

（左から）菅井正貴さん、峯田武雄さん、菅井正治さん（代表）、菅井勇輝さん

「果樹」と「野菜」両立の成功モデルに 和合小松菜組合のみなさん

▼組合結成までのいきさつは？

菅井正治（以下「正治」）

和合沼向地区の農産物有機栽培研究会「和合あおば会」の活動で、今年 4 月、県内に住む小松菜の有機栽培の先駆者のもとへ研修に出かける機会がありました。その後、研修を仲介した「町産業創造推進機構（代表＝鈴木町長）」から同会に本格的な栽培の打診があり、興味を示したのがこの 4 人。以降、トントン拍子で話が進み、実施の方向で話がまとまりました。

▼珍しいメンバー構成です。

峯田武雄（以下「峯田」）

正治さんと私は、ついこの間まで実は会社員でした。二人とも退職後は家族が手掛けてきた果樹を生計の柱とするつもりでしたが、これだけだと、どうしても収入時期が限られてしまいます。

これに対し、この小松菜栽培は通年でできることに加え、提携栽培という好条件付き。果樹収入を補えると思いました。

菅井勇輝（以下「勇輝」）

私も同じです。私の家は果樹専業農家。定期的な収入は魅力的でした。

このほか、軽作業で屋内というのも魅力。果樹に比べ、女性でも取り組みやすいという点では、今後「嫁探し」をする自分にとって、プラスの材料と思いました（笑）。

菅井正貴（以下「正貴」）

私の家は家族で製材業を営んでいますが、現在、業界は厳しい状況下にあります。家業と両立できる小松菜で、少しでも収入を得られればと参加を決めました。

年代の離れている人と一緒に仕事？同じ地区内で昔から知ってる方々ですし、特に違和感や抵抗はないですね。

▼設備投資も大きいと思いますが…

正治

設備は、スプリンクラー機能のついた栽培ハウス 4 棟のほか、育苗ハウス 1 棟と肥料用ハウス 1 棟、計 6 棟のハウスと関連機材など。大きな投資額に不安もありまし

たが、遊休農地活用による国の交付金と町単独補助金を活用させていた

き、組合の負担は全体の半分程度で済みました。

ちなみに、本組合のメンバーは 4 人ですが、栽培は基本的に個人ごとに行っています。4 棟の栽培用ハウスはメンバーが 1 棟ずつ管理し、出荷も棟ごとに数量を確認。それに応じた代金を受け取ることとしています。

▼無農薬の有機栽培だと…

峯田 私たちの作る商品は、栽培方法を学んだ研修先の農園の名を冠した商品として店頭に並ぶこととなります。そのため、栽培は同園と全く同じ方法で、土壌にこだわった方法を行っています。

栽培ハウスの大きさは 1 棟あたり約 220 m²（6.3 m×35 m）ですが、1 回の栽培には、全体の半分しか使いません。土壌の疲弊による連作障害を防ぐため、半分的面積を交互に使用します。

土地には収穫が終わるたびに有機肥料が加えられ、養分が蓄えられます。

▼具体的な作業内容は？

正貴

作業は大別すると、①育苗箱への播種、②苗のハウス内への定植、③日常管理、④収穫—この 4 つに分けることができます。約 1 カ月周期で行います（年 10 回収穫の予定）。

大半の日は③の作業で、水まきや液肥によって、苗を均一の大きさに育てます。時間は 1 日 1 時間未満ですので、果樹作業の合間でも十分可能です。

ただし、冬場はハウスの脇の除雪が必要です。無農薬ですので、病害虫の心配もありますが、それ以上に、雪によるハウスの倒壊が心配です。

▼今後の抱負を一言

勇輝

一般的に、果樹と野菜は両立できないと言われていました。私たちが成功することによってこれを打ち破り、農業経営の新たなモデルになれると思います。

また、これをきっかけに、農業の選択肢が広がり、農業に興味を持つ若い人がもっと増えてくれればうれしく思います。

となりの リンゴさん

(240) ホリイ



■山形県図書館事業功労者表彰—おはなし会ぶなの実



子どもを対象に絵本の読み聞かせ活動を展開する「おはなし会ぶなの実（登坂ひかる代表）」が県図書館協会の図書館事業功労者表彰を受けました。

読み聞かせ活動を通じて、子どもの読書普及に対する尽力が認められたものの。10月7日に鶴岡市で開催された「山形県図書館研究大会」の席上、登坂代表に表彰状が贈呈されました。

■安全就業特別賞を受賞—朝日町シルバー人材センター



（社）山形県シルバー人材センター連合会主催による今年度の安全就業推進大会が10月13日、山形市で開催され、町の同センターが安全就業特別賞（3年間無事故）の表彰を受けました。

10月18日、報告のため役場を訪れた同センターの長岡藤太郎理事長と藤沢盛治副理事長。鈴木町長に無事故期間のさらなる更新を誓いました。

■JA さがえ西村山によるカーブミラー贈呈式



JA さがえ西村山（古沢明代表理事組合長）による町へのカーブミラー贈呈式が11月4日、町長室で行われました。

これは、地域の交通安全に役立ててほしいと、この時期に毎年行われているもので、今回は4基を寄贈。これらは町内の見通しが良くない場所に今後設置される予定です。

入賞・入選おめでとうございます

■第31回全国中学生人権作文コンテスト山形県大会

【日本放送協会山形放送局長賞】

佐藤知佳（朝日中3年）

■平成23年度県小学生人権書道コンテスト【入選】

佐竹康平（西五百川小6年）

阿部竜大（西五百川小6年）

■県中学校新人総体 南ブロック大会

※以下すべて決勝大会へ進出

2位…柔道男子個人 50kg 級 海野静哉（2年）

3位…剣道男子団体

ベスト8…剣道男子個人 堀 将人（2年）

剣道女子個人 佐藤亜美（1年）

ベスト16…剣道男子個人 富樫春優（1年）

町立図書館新刊案内

「未来を生きるための教育」

長岡 昇・高橋 章子 著



元朝日新聞記者の長岡昇大谷小学校長と、東京で3人の子育てに奮闘する元人気雑誌編集長が、朝日新聞の会員制ウェブサイト「アスパラクラブ」上で展開した往復書簡。教育にまつわる様々なテーマを本音で綴る。

第22回ひろすけ童話賞受賞作品

「うずらのうーちゃんの話」

かつや かおり 作



ぼくのうずら、名前は「うずら野うーちゃん」。うーちゃんはいくせになかなか強そうな顔をして、貫禄たっぷり。でもある日、カゴのそうじをしていたら、はなしてたうーちゃん猫に襲われ、片足をもがれて…

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などお待ちしております。
なお、無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

■あて先／〒 990 - 1442 朝日町大字宮宿 1115 番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67 - 2112 ファックス：67 - 2117)

■メール／inform@town.asahi.yamagata.jp

町民の

声

管理をしつかりと！世界のりんご園

問

9月、久々に「世界のりんご園」に行つて驚きました。草は伸び放題で、園地は草刈りもされていませんでした。

朝日町は「りんごとワインの里」をキャッチコピーに掲げているはず…。とても残念です。近隣自治体と観光面で連携を図るのも大変いいことですが、その前にもっと自分の町の宝を大切にしてください。しっかりと管理をお願いいたします。

答

「世界のりんご園」は、朝日町にりんごが植栽されて101年目にあたる昭和63年に行われたりんご101記念事業の一環で、町がりんご産業に取り組む象徴として「りんごの里朝日町」を広く内外にPRするとともに、今後のりんご産業の活性化に結びつくような品種を期待して整備されたものです。

栽培品種は世界各国の約170種で、花や実が珍しい品種もありますが、商品性の低いものがほとんどという実態です。

当初は町農業研究所が管理していましたが、研究所機能の役割移転に伴い、現在は町内の団体に防除や草刈等の維持管理を委託している現状であります。

このようなことから、町でも園のあり方について検討を重ね、品種検討の目的ではなく、今後は観光面での活用の特化するという方向性で考えております。具体的には、町のりんご産業を支えてきた品種等は残す一方、その他はもぎとり体験等ができるような商品性の高い品種に改植したい考えです。

現在、管理体制を含めた具体的な計画策定を行っています。町の交流人口増加に向け、施設を有効に活用したいと思えます。

【産業振興課】

「心の故郷」

『移転記念誌ひとつざわ』

今、私たちに語りかけるもの

町長歳時記
(70)

十二月六日行なわれた消防団第一分団第一部の契約。その懇親会の席上、西原区の阿部今朝夫区長さんから、一ツ沢部落閉村を期に編まれた『移転記念誌ひとつざわ』のお話をお聞きし、ぜひ見せていただきたいと申し上げ、一部を届けていただきました。

その記念誌は、当時一ツ沢分校の教諭であった遠藤清蔵先生によって編集され、昭和四十八年十月八日刊行されました。九十八ページからなる大変貴重な記念誌は、地域住民及びゆかりの方々の深い愛情によって編まれた記念誌として、それから四十年になんなんとする今日においてもなお、さらに重きを増して来る一冊となっております。

八十三葉の写真と、分校旧職員の先生方、そして卒業生の方々の手記が収められた記念誌。一ツ沢地域二百年の歴史とそこに住む人々の厳しい生活の息づかいとともに、六十九年の

沿革をもつ一ツ沢分校の子どもたちの素直で純真な姿に、一ツ沢地区の往時が偲ばれます。

「私が学んだ校舎はとても小さなものでした。…グラウンドも体育館もなく、教室で鬼ごっこをしたり、お手玉で遊びました。…遠足といっても…菅野を通り、置賜との境まで登っては、はるか遠くの荒砥を走る汽車を見て、とび上って喜んだものです。…ランブ生活でしたので、ラジオ・テレビもなく、楽しみは山の神や地蔵様のお祭りでした。…部落での思い出はなつかしく、たとえ部落がなくなっても、私の心の故郷は、一ツ沢でしかありません。」昭和十一年卒、小林わかさんの手記です。たとえ時代が変わるうとも、生きていく限り、故郷は人の心の中に宿り続けているものなのだと教えていただいた思いです。

朝日町長 鈴木浩孝



■平成23年(2011年)
10月1日～10月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大町	佐藤陽侶	男	英樹・梨恵子
大沼	小林海翔	男	博行・洋子
西原	阿部日向大	男	和幸・裕子



おしあわせに

白田 (西町)	淳		細矢美奈子 (山形市)
渋谷 (大町)	幸志		菅野愛 (西川町)
阿部 (常盤)	幸司		松田瑠美 (天童市)
阿部 (太郎一)	祐也		岡田美樹 (山形市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
四ノ沢	熊谷榮作	久雄
緑町	山内房吉	豊志
沼向	菅井信尋	勝尋
中沢	五十嵐俊男	平一郎
新宿	熊谷武四	貞則
太郎一	長岡タツノ	継一
大町	成原茂	ふみ子
元町	安孫子まつゑ	良政
ふれあい荘	志藤あを	本人

掲載を希望しない方は
届け出の際にお申し付けください

人口と世帯数

●平成23年10月31日現在

人口	7,959人	(-9)
男	3,948人	(-3)
女	4,011人	(-6)
世帯数	2,500世帯	(-4)
()内 前月比		

----- 10月中の異動 -----

出生	3人	転入	7人
死亡	8人	転出	11人

第14回ひめさゆり俳句大会

町内小中学生による標記大会が今年も開催され、応募総数1095句の審査結果がこのほど発表されました。

この大会は齋藤茂吉文化賞をはじめとした数々の文芸賞を受賞している阿部宗一郎さん(常盤)が「子どもたちに、活字に親しむ機会を提供することで、日本語の美しい響きを理解してもらいたい」と平成10年に始めたもの。平成20年以降は、町教育委員会が事業を引き継ぎ、審査員は山形県現代俳句協会幹事の佐竹伸一さん(常盤)と山形県俳句協会員の岩崎たか彦さん(高田)が務めています。

「俳句は季語を使って、作者がいつ、どこで、何を感じたかがわかるように五・七・五で表現する十七音の詩です。今年もこの観点から入賞句を選びました」と選評で語る佐竹伸一さん。金賞・銀賞に選ばれたのは次の句で、このほかの入選作品については、今後お知らせ板で紹介します。

▼金賞(佐竹伸一氏 選)

大根が雪化粧して立っている

(朝日中1年 佐藤花菜)

△評▽ 大根が、雪化粧してさらに白くなっています。収穫前の大根でしょうか、それとも泥を落とされてきれいに立ってかけられた大根でしょうか。その情景は読み手の解釈次第ですが、どちらにしても、大根は降りかかる雪を纏い、己が身を凛々しく引き締めています。擬人法を用い、「立っている」と表現したことで、大根の意思まで想像できる奥の深い句となりました。

▼金賞(岩崎たか彦氏 選)

チクチクとゆびにささったなすのとげ

(宮宿小1年 渡辺天紫)

△評▽ 素直な実感と簡潔な表現。全体のリズムがとてもいいですね。天紫くんのしかめた顔が浮かびます。

▼銀賞(佐竹伸一氏 選)

かみなりだおへそあるかなしやつめくる

(西五百川小1年 梅津彩果)

いちごの実ぼつんと一つかくれんぼ

(西五百川小6年 長岡志保)

日やけしてカブトムシだとさわがれる

(宮宿小6年 朽木大輔)

▼銀賞(岩崎たか彦氏 選)

赤青黄しんごうみたいなトマトもぐ

(宮宿小3年 渡邊志野)

リビングにグリーンカーテン映る影

(西五百川小6年 菊地美桜)

思ひ出をみな日焼けが語ってる

(大谷小6年 白田千紘)

くぬぎだいら 「榎平の棚田」が「山形経済同友会賞」を受賞

----- 第4回地域づくりの山形景観賞 -----



地域住民の手によって美しい景観が守られている「榎平の棚田」

地域活性化に取り組む人々の情熱が反映された景観等を顕彰する、山形経済同友会（中山眞一代表幹事）の第4回「地域づくりのやまがた景観賞」の最

終選考会が10月26日、山形市内で行われ、「榎平の棚田」が「山形経済同友会賞（2位相当）」に選ばれました。

今年の景観賞には県内各地から30点

が応募。先月28日の1次審査会を経て、「水本菜の花プロジェクト」を含む5点が最終選考に残り、この日は推薦者によるプレゼンテーションを開催。山形県経営者協会会長の黒澤洋介山形新聞社長を委員長とする選考委員12人と同友会員9人が投票で各賞を決めました。

「一般の方々も参加する棚田保全会や、棚田米の販売など、独自の活動が認められました」と話すのは、「榎平棚田保全会」の志藤勝幸会長（能中）。「特にうれしかったのは、町外の方から応募を薦めていただいたこと。訪れた方が景観に感動し、それがきっかけで応募。賞をいただきました。私たち地元住民にとって、棚田を維持することは、地域を維持することそのもの。今後も棚田を通じて地域の活性化に貢献できれば幸いです」と受賞の喜びを語りました。

観光協会だより



by 町観光協会
観光振興推進員
後藤匡利



りんごが飛ぶように売った観光キャラバン

菅生 PA で朝日町観光キャラバンを実施しました

10月16日、町観光協会主催で朝日町観光キャラバンを実施しました。場所は東北道の菅生 PA（上り）。協会スタッフや町職員など11人が現地を訪れ、りんごの試食販売を行いました。

この取り組みは、町の PR を目的に同協会が初めて企画しました。町への来訪者の大半は自動車を利用することから、高速道

路 PA で実施。シナノスイート3個入り一袋を250円で販売したところ、午後1時までには用意した約250袋が完売するなど、売れ行きは好調でした。現在は東本大震災の復興期間として、出店料は無料でした。

観光にこうした宣伝活動は必要不可欠です。今後もこうした新たな取り組みを積極的に模索していきたいと思います。

春夏秋冬 編集後記

どうぞお試しあれ
町内飲食店の
おすすめメニュー

のりんご農家の方が登場しています。りんごの産地として全国区の知名度を誇る朝日町の実力をあらためて感じたところです。

▼CMとえば、今年も「山形ふるさとCM大賞」の季節となりました。毎年頭を悩ませながら制作していますが、今年はこれまでにない「正統派」の作品が出来上がりました。もうすぐ審査会が行われ、来月上旬にその様子が放送されます。こちらもお楽しみに。

佐久間 淳

▼「B級グルメ」という言葉が浸透する中、町内飲食店を紹介した今回の特集。取材した私自身も知らなかったことばかりで、「へえ」の連続でした。今回の記事をきっかけに、お店に足を運んでいただければ幸いです。後半もお楽しみに。

▼11月9日から期間限定で販売されているキリンの缶チューハイ「氷結」のアップルヌーヴオー味。原材料には当町産のりんごが使用されていて、テレビCMには「山形県朝日町」の文字とともに、町